

## 居宅介護事業についてご説明致します

居宅介護支援事業所とは、介護保険に関する総合的な相談窓口です。介護支援専門員（以下ケアマネジャー）により、介護を必要とする人が適切なサービスを利用できるよう、利用者や家族の要望を伺いながらケアプランの作成や見直しを行い、サービス事業所や施設との連絡調整を行う専門の事業所です。

ウエルケア新吉田にはケアマネジャーが3人在籍し、要介護認定の申請代行や、認定後の要介護度に応じた「居宅サービス計画（ケアプラン）」の作成を行い、関係機関と連携してより良いサービスが継続的に受けられるようご支援致します。施設入所者は、毎日モニタリングが行え、状況やニーズの変化にも迅速に対応出来ますが、居宅利用者は各サービス事業所との密な連携がより重要になってきます。

昨年の緊急事態宣言下では、利用者がサービス利用を控える傾向が見られるとともに、毎月の訪問が実施出来なかったりした月もありましたが、実際には訪問を希望される方が多いです。

現状の対応策としては訪問と電話でのモニタリングの併用を行っていますが、訪問によるモニタリングの完全な代替策にはなりません。電話だと何か異変が起きていても「大丈夫です」と答えてしまう方や、視覚からの情報把握が不足しがちになり、細かな確認は難しいこともこの1年でわかりました。未だに収まらぬコロナ禍において、利用者や家族との信頼関係を大切に、安心して在宅生活が送れるような支援を行えるよう日々模索しています。

（居宅介護支援事業所 内田 喜之）

## 恒例の節分行事で笑顔溢れる



2月3日に施設内の各部署で節分行事が行われました。皆さん朝からウキウキとしたご様子。それもそのはず！節分イベント！鬼退治にやる気満々で、気合が伝わってきます。のそりのそりと赤鬼と青鬼が近寄ると待ち構えていたとばかりに豆まき！「鬼はそと！福はうち！」と力あわせて元気笑顔いっぱい追いやりました！

## 見事に咲いたチューリップ

昨年末に屋上の植栽スペースに植えたチューリップの球根が見事に開花しました。



編集後記

コロナ禍終息の見通しが立たないまま、変異株ウィルスの割合が増加してきてきており、先行き不安な状況が続いております。当施設では、4～5月にかけてまん延防止等の措置に従い自粛生活を遵守してまいりました。今しばらくは、ご家族様にご迷惑をおかけしますが、職員一同感染防止に真摯に取り組んでおりますので、どうかご協力をお願い致します。

編集長：松波彰誉、編集委員：山口瑠美、高橋裕子、竹内良美、斉藤裕子

1面：●コロナ禍中の職員勉強会より施設長のスピーチ ●感染防止対策用パーティションの設置 ●花見弁当 2面：●健康レシピから考える適切な食生活 3面：●辞令交付式報告 ●教育指導課新任に際してご挨拶 4面：●居宅介護事業とは ●節分行事 ●屋上植栽作業ほか

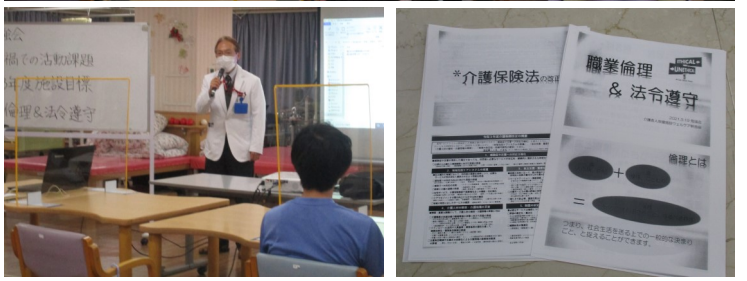
## コロナ禍中の職員勉強会より～施設長からのスピーチ～

3月末に行われた職員向け勉強会の中での施設長からのスピーチを抜粋してお伝えします。

「昨年発生した新型コロナウイルスは昨年3～4月に第1波、8月頃に第2波、12月頃に第3波、現在第4波と言えるでしょう。世界の様子を見るとワクチンの効果はあるようです。ワクチンを打った方は抗体ができています。個人の効果が期待できます。しかし日本全体では50%以上の方がワクチン接種しないと、全体の方がウイルスに対して防御できて、患者数が減って、増えないということにならないでしょう。怖いと思う人がいると思いますが、どのワクチンでも副作用はありません。ワクチン予防に大事なものは手洗いとマスクです。今年一年はマスクをしないとダメでしょう。施設では外食禁止にしていますが、可能になった時は、利用者様に移さないことを思い、「利用者様のために控えようかなあ」と思って頂けるとありがたいです。」

施設では3月に2度のPCR検査を行い、全員が陰性でした。そして4月にはご利用者様および職員の第1回目のワクチン接種が終わりました。

（副施設長 横溝 和子）

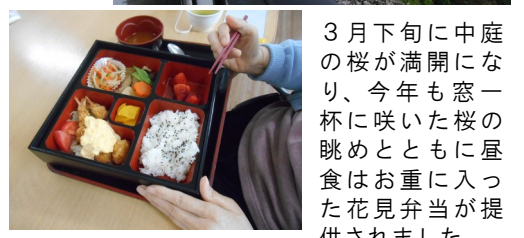


## 感染防止対策としてパーティションを設置



コロナ禍となり1階デイでは感染防止対策としてご利用者様のお席にパーティションを設置し距離を保つようにしております。今後も感染しない・させないために対策に努めてまいります。

## 満開の桜とともに花見弁当



3月下旬に中庭の桜が満開になり、今年も窓一杯に咲いた桜の眺めとともに屋食はお重に入った花見弁当が提供されました。

## 健康レシピから考える適切な食生活

前号から引き続き食品の身体に及ぼす作用について見ていきましょう。

### 【旬の野菜が身体に良いとされる理由】

- 整った環境の中で収穫されるため栄養価が高い。味が濃く風味も良い。
- 季節ごとの体調の変化に応じ身体バランスを整える作用がある。
- 五感で季節を感じ心も満たされる。

腸には免疫細胞が6～7割存在していると言われています。免疫細胞が力を発揮するには腸内環境を整えることが大切です。脂質が多く野菜が少ない食生活は腸内環境の乱れにつながるため注意が必要です。



vegetable

＜おすすめレシピをご紹介します＞  
～キャベツロール～材料（2人分）

- ◆豚肉（薄切り）：200g ◆ キャベツ：4枚
- ◆人参：1/2本 ◆ エノキ：1/4束
- ◆ほうれん草：2束 ◆ スライスチーズ：2枚
- ◆固形ブイヨン：1個 ◆ カレー粉：大さじ2杯
- ◆塩：少々 ◆ トマトケチャップ：大さじ2杯
- ◆こしょう：少々 ◆ 固形ブイヨン：1個
- ◆水：3カップ

### 【作り方】

- ① たっぶりの湯にキャベツの葉の方を入れてやわらかくなるまでゆでます。
- ② キャベツは芯の部分こそぎ取ります。
- ③ 茎2本に人参、ほうれん草、エノキを縦1/4にし、5cm位にそろえます。

- ④ チーズは1/2枚にし、更に半分にして同様にそろえます。
- ⑤ ③④を束にして豚肉で巻き、塩、コショウをふります。
- ⑥ ⑤をキャベツの葉で包み、つまようじで留めます。
- ⑦ ⑥を4個作り、鍋に並べ、キャベツが浸るまで水を入れます。
- ⑧ 隙間に残りの茎やブロッコリーやセロリを入れても良いでしょう。
- ⑨ 水分600mlに対して固形ブイヨン1個、カレー粉大さじ2杯でやわらかくなるまで煮ます。
- ⑩ トマトケチャップを入れてひと煮立ちさせれば完成です。



＜素材別の効能＞

- 豚肉**  
→**良質なタンパク質**  
筋肉、血液、皮膚ホルモン、免疫細胞など身体を構成するあらゆるものを合成している。
- ビタミンB1**  
細胞の再生を助けて粘膜を保護する。
- チーズ**→**発酵食品**  
体内に侵入する外敵をブロックする。腸内環境を整え、免疫細胞の働きを助ける。
- えのき**→**キノコ類**  
食物繊維が豊富で免疫細胞を活性化する。
- 人参、ハウレン草**  
→**βカロテン**  
鼻や喉の粘膜を強くする。
- ビタミンC**  
健康な皮膚や粘膜を維持し活性酸素から身体を守り、抗酸化作用がある。
- カレー粉**→**香辛料**  
細胞に栄養と酸素を送り届け、身体を温め血流が良くなると免疫機能を担った白血球が体内をめぐる。

（看護職員 田中 智子）

## 歓迎の意をこめて行われた辞令交付式

4月1日に新入職員はかなり緊張する雰囲気の中、滞りなく辞令交付式は行われました。井藤事務局長、坂本人事部長、藤澤事務次長、横溝副施設長、各フロアの介護主任、相談員が参加し一言ずつ歓迎の言葉を贈りました。

近年新卒で入職される職員が少なく、5人もまとまって入職されることは希なため、たくさんの人が参加した有意義な辞令交付式となりました。



## 教育指導課新任に際してのご挨拶

本年2月16日より本館2階介護職員から教育指導課職員となりました齊藤允人(まさと)です。

教育指導課は主に職員の指導や研修などを行う部署となります。今年度の抱負の一つが4月から入職した職員の指導をしっかりと行うことです。



高校を卒業後間もない職員の為一から介護技術や知識を指導し、介護職員として利用者様から信頼され、愛される職員に成長してもらいたいと思っております。もう一つの抱負は教育指導課の運営方法の確立、指導方法の共有を行い施設職員全体のレベルアップを図れる様努力したいと思います。まだまだ勉強中の身ですが与えられた役割を精一杯努めて参りますので宜しくお願い致します。

（教育指導課 齊藤 允人）

### ＜令和3年度4月新入職員抱負＞

高橋克綺さん  
(相談員)



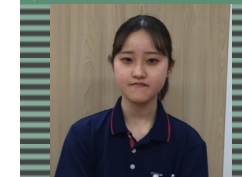
利用者さんや家族の気持ち得お考え行動できるように頑張ります。

加藤響希さん  
(介護士)



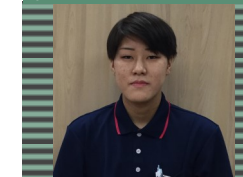
早く基礎を覚えて現場に入り様々な人とコミュニケーションを取りながら働きたいです。

小池リナさん  
(介護士)



一人前になって現場で役立つように基礎的な知識をしっかりと身につけていきたいです。

前田美姫さん  
(介護士)



チームワークを大切にして思いやりをもって仕事ができるように頑張りたいと思います。

樋口琴乃さん  
(介護士)



何事も冷静に行動できるように頑張ります。